

# 風

## かぜ

カゼ 2005.10-17 No.86

### ◇渋柿の渋がそのまま

「渋柿の渋がそのまま甘味かな」の句は加賀の千代女の作とも言われていますが、何はともあれ浄土真宗のみ教えを味わっていく上でとても大切な句でもあります。それは渋柿が転じて甘柿になるからです。渋味を除去するでなく、甘味を注入するでなく、陽射しをただ受けるだけで見事に転成していくのです。誠に不思議な自然の営みと驚かされます。お正信偈に「不断煩惱得涅槃ワンボンノクハツ」とあります。煩惱を絶つことなく、涅槃が得られる。丁度渋味がそのまま甘味に転ずることに通じます。陽に当たることは、仏の光に遇うことでしょうし、皮を剥くことは、私が聴聞の座につくことに尽きます。

### ◇報恩講が近づいてきました

来る11月10日（木）午後1時から例年通り組内の七寺院の住職に出仕をいただき、参詣の皆様共々にお正信偈を誦読しご法縁を確かめさせていただきます。当日のご法話は山田義俊師です。ご都合をつけお参りください。お待ちしております。

### ◇今月の安楽寺伝道掲示板

人間の目はふしぎな目  
見ようという心がないと  
見えていても見えない

〒105-0014

東京都 港区芝1-12-18 安楽寺

03-3451-1509